

事務事業名		市民健康づくり大会開催事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業																										
政策体系	政策名	14 安心が確保されたまちづくりの推進			事業期間		予算科目																										
	施策名	18 社会保障の充実					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成16 年度 ~)	10	08	02	01	01																					
	基本事業名	01 国民健康保険の充実																															
根拠法令		国民健康保険法第82条			☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入																												
所属	部課名	生活福祉部国保年金課																															
	係名	国保係	電話	0192(27)3111																													
			内線	143																													
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 健康増進の意識醸成のため、著名人による講演会や健康測定、健康相談等を開催する。 多くの市民に参加を求め、専門家による健康相談や測定、健康づくり講演会等の催しをととして、健康意識の高揚を図るものである。 主な業務は、事業内容の企画、周知、事業実施。 事業費は、各種健康相談、指導、講演会の講師の委託料等である。							全体計画(期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A) + (B)</td> <td>0</td> </tr> </table>			総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計 (A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計 (B)	0	トータルコスト(A) + (B)		0
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金																															
		都道府県支出金																															
		地方債																															
		その他																															
		一般財源																															
	事業費計 (A)	0																															
人件費	正規職員従事人数																																
	延べ業務時間																																
	人件費計 (B)	0																															
トータルコスト(A) + (B)		0																															

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	単位
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		ア 大会開催日数	日
各種健康相談、指導、講演会等の実施		イ 健康相談コーナー数	コーナー
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度と同じ			
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
国保被保険者を含む市民		名称	単位
		カ 人口	人
		キ 国保被保険者数	人
		ク	
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
多くの市民が健康づくりの大切さを学び、健康づくりに実際に取り組むようになる。		名称	単位
		サ 大会参加者数	人
		シ	
		ス	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
国保制度を正しく理解してもらうとともに、健康について考える機会を設けることで、自己の健康づくりに寄与する。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	国庫支出金	千 円				900	
		都道府県支出金	千 円		544			511
		地方債	千 円					
		その他	千 円					
		一般財源	千 円	1,352	368	1,338	58	501
		事業費計 (A)	千 円	1,352	912	1,338	958	1,242
	人件費	正規職員従事人数	人	14	14	14	35	31
		延べ業務時間	時 間	200	200	200	400	471
		人件費計 (B)	千 円	800	800	800	1,600	1,884
		トータルコスト(A) + (B)	千 円	2,152	1,712	2,138	2,558	3,126
活動指標	ア	日	1	1	1	1	1	1
		コーナー	10	6	6	5	6	12
対象指標	カ	人	43,209	43,000	42,750	41,684	41,631	41,240
		人	19,251	19,123	19,000	13,995	13,692	13,298
成果指標	サ	人	1,100	700	750	1,000	1,000	700

事務事業ID	0136	事務事業名	市民健康づくり大会開催事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ H15年度まで個別相談主体の「健康づくりのつどい」（保健福祉課主管）と「健康づくり講演会」（国保年金課主管 平成元年度開始）を別々の事業として実施していたが、事業のスケールアップによる相乗効果を図ることを目的に、H16年度に「健康づくり大会」に一本化し両課連携によりスタートした。			
事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 平成20年度の機構改革により、国保年金課に保健指導・予防部門の係が新設され、健康づくりの主体をなしていた保健師が配属されたことで、連携が強化された。また、市民文化会館の落成により、会場の規模が拡大し、より多くの参加が期待できるようになった。（例年700人程度から1000人に増加した） なお、評価項目（投入量）になっている人件費（人員）については、会場の拡大とともに20年度からは保健介護センター職員分も含まれることとなったため、大幅に増加している。			
この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 著名人による講演会は、多くの市民を集め、健康づくりに役立つ事業と好評を得ている。また、個々の健康状態に対応した健康相談も、日頃の健康管理に直結するものとして参加者から評価を得ている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 本事業の実施により、健康管理に関心を持つ機会を提供でき、市民の健康維持増進に寄与している。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市民の健康増進と国保財政の健全化を図ることを目的に実施している事業で、保険者が主体的に取り組んでいるものである。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 全市民が対象であり、対象の追加の必要はなく妥当である。 また、市民自らの健康づくりの気運が醸成されているところであり、現在は定着を図る時期と捉えている。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 講師選定や、コーナーの工夫により、更に多くの市民に健康思想の普及を図ることが可能と考える。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 健康について考える数少ない機会であり、本事業の健康相談を積極的に活用している市民も多く、保険者として継続すべきものとする。 健康保持増進は、疾病予防につながり、ひいては医療費抑制による国保財政の健全化に寄与することから、形態は異なっても同様の事業は、実施すべきと考えている。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない [理由] 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 他のイベントと連携させた場合は、健康増進のアピールをどの程度盛り込むことができるかが重要となる。費用負担に見合うアピールと広がり期待できるのであれば、他のイベントとの統廃合も検討に値する。 ☐ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 事業費の大半を占める講演会講師には、多くの聴講数を確保するため中央で活躍している著名人を選定しており、市民の期待も大きい。講師のレベルダウンに直結する事業費の削減は、参加者の減少につながり事業目的に影響があると考えられる。県調整交付金の活用も行っており、財源的には対応できるものであるが、更なる効果を期待し講師のレベルアップを図りつつ費用の削減を目指すものとして、隔年開催等も検討に値すると考える。
	人件費（延べ業務時間）の削減余地	☒ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？（アウトソーシングなど） イベント業者や警備会社等へ業務別に委託するなどで削減の可能性はあるが、健康相談コーナーの充実や施設の構造上、安全管理上ある程度の人員は必要となることから、現在の形態のままでは削減の可能性は乏しいと考える。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☒ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 公平・公正である [理由] 普及効果の向上を目的に、より多くの市民が参加できるよう参加費は無料としているが、健康診査、相談、講演会にかかる受益者負担については、今後の課題と位置づけ検討していく。

事務事業ID	0136	事務事業名	市民健康づくり大会開催事業
--------	------	-------	---------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table><tr><td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>公平性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr></table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	普及効果の向上を図るため、市民ニーズにあった催しや講師の選定、事前PR等の工夫をとおして、多くの市民が集うイベントとして定着させていく。また、内容充実に伴う受益者負担(講演会入場料)についても検討する必要がある。 なお、市民から好評を得ている事業ではあるが、講演会事業は開始から20年を超えていることから、総括を行い、政策として総合的な評価を行う時期に来ている。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 事業費については、委託部分の拡充等合理化を図るなど削減努力を継続する。相談料や講演会入場料等については現在の参加状況から困難と考えられるが、今後検討を要する事項である。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																						
平成23年度は震災の影響もあり、中止としている。 24年度は、23年度に震災支援で著名人が多数来市しているため、これまでの規模の講演会を企画しても、参加者数等に期待が薄いと考えている。あわせて、経常収支で赤字を計上しており、財政再建を目指す中で多額の費用を必要とする本事業については、見直しが必要と考えている。																						

(職名)	原則として施策の主管課長
2次評価者	国保年金課長

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																						
☐ 記述不足でわかりにくい																						
☐ 一部記述不足のところがある																						
☒ 記述は十分なされている																						
評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																						
☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)																						
☐ 一部に客観性を欠いたところがある																						
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table><tr><td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>公平性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr></table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	国保財政が厳しくなってきたり、事業費の削減を検討する。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
公平性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 市民の健康に対する関心を高めるための施策として長年実施しているが、講演会形式の妥当性、入場料の可否などについて検討する余地がある。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項